

平成27年5月7日

第 59 回宇宙科学技術連合講演会オーガナイズド・セッション企画提案書

1. セッション名：これからの日本の宇宙輸送を支える要素技術
～アビオニクスと構造・機構系～

2. オーガナイザ：中村 泰（JAXA）

3. セッションの概要（目的・意義・内容など）：

日本の宇宙輸送は、イプシロンロケット 1号機の打上げ成功と新型基幹ロケットの開発着手を受けて、国際的な競争力の獲得を目指す新たな局面に入った。これらのロケットの開発になくてはならないのが、アビオニクス（電子機器、ソフトウェア）と構造・機構系に関する先進の要素技術である。本オーガナイズドセッションは上記基幹ロケットへの適用に向けて開発中の要素技術と将来の宇宙輸送の発展のために進められている技術研究について報告し、議論を行うものである。

4. セッション形式（講演のみか、パネルディスカッション等を含むか）と構成、発表時間、件数：講演のみ

オーガナイザーが8件程度集める計画であるが、下記、関連の一般講演を受け入れ、最大10数件を見込んでいる。

5. 個別発表課題と発表者、所属、アブストラクト：

-未定（一般講演を受け入れた上で確定する。）

6. その他（一般の講演者の追加を受け入れるか、実行委員会への要望など）：

一般講演の追加を受け入れる。

日の希望は特にないが、イプシロンや新型基幹ロケットの講演と重ならない事を希望する。